

県立中部病院本館 厨房系統外気空調機取替修繕工事

2020

沖縄県立中部病院

## 図 面 目 録

図面番号	図面名称	縮 尺	
M-00	図 面 目 録	N / S	
M-01	特記仕様書①	N / S	
M-02	特記仕様書②	N / S	
M-03	特記仕様書③	N / S	
M-04	特記仕様書④	N / S	
M-05	配置図・案内図	N / S	
M-06	厨房1階平面図	N / S	
M-07	ISS階平面図	S = 1 / 200	
M-08	空調機器配置図	S = 1 / 50	





章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																		
	<p>⑱ 機材の品質等 (1. 4. 2)</p> <p>⑲ 技能士</p> <p>20 化学物質の濃度測定 (1. 5. 7)</p>	<p>※工事に使用する機材の品質等は図示（機器仕様書等）又はこれらと同等のものとする。（製品番号等は参考であり限定しない。）</p> <p>※使用する機材はあらかじめ監督員の承諾を受ける。</p> <p>※使用する機材が「建築資材・設備機材等品質性能評価事業」一般社団法人公共建築協会）による場合は、評価書の写しを監督員に提出する。</p> <p>技能士を適用する。技能検定の職種及び作業種別は以下による。</p> <p>○ 配管施工（建築配管作業）</p> <p>○ 熱絶縁施工（保温保冷工事作業）</p> <p>○ 冷凍、空調調和機器施工（冷凍、空調調和機器施工作業）</p> <p>○ 建築板金施工（ダクト板金作業）</p> <p>(1) 化学物質の濃度測定の基準、測定方法、測定対象室及び測定箇所は以下により実施する。</p> <p>・「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」（国営整第4号平成24年4月5日）</p> <p>・「学校における室内空気汚染対策について」（</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定対象室</th> <th>測定箇所数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 測定対象化学物質が濃度指針値を超えた濃度で検出された場合は、引渡は受けない。</p> <p>21 技術検査 (1. 6. 2)</p> <p>⑳ 完成時の提出図書 (1. 7. 1)</p>	測定対象室	測定箇所数	備考							<p>(1) 化学物質の濃度測定の基準、測定方法、測定対象室及び測定箇所は以下により実施する。</p> <p>・「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」（国営整第4号平成24年4月5日）</p> <p>・「学校における室内空気汚染対策について」（</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定対象室</th> <th>測定箇所数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 測定対象化学物質が濃度指針値を超えた濃度で検出された場合は、引渡は受けない。</p> <p>中間技術検査を行う。実施回数及び治癒する段階は以下による。</p> <p>(1) 本工事は電子納品対象工事とする。</p> <p>電子納品とは、調査、設計、工事などの各段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、各種電子納品要領・基準等（以下「要領」）に示されたフォーマットに基づいて作成されたものを指す。なお、書面における署名又は押印の取り扱いについては、別途監督員と協議するものとする。</p> <p>(2) 工事完成図書は、「要領」に基づいた電子データとなっているか（一册）沖縄建設技術センターにて確認を受け、「確認登録証」の発行を受けること。</p> <p>工事完成図書は電子媒体で（正）1部提出する。</p> <p>「要領」で特に記載がない項目については、監督員と協議の上、電子化フォーマットを決定する。なお、「紙」による提出物は、監督員と協議の上、決定すること。</p> <p>(3) 受注者は完成通知書の添付書類として、以下の書類及び電子データを監督員に提出しなければならない。</p> <p>ア ゆいぐる材利用状況報告書</p> <p>イ ゆいぐる材出荷量証明書</p> <p>(4) 受注者は、監督員より「長期保全計画書」の作成の指示があった場合、これを作成し監督員に提出しなければならない。なお、この計画書の内容等は監督員との協議により決定する。</p> <p>本工事は沖縄県が指定する情報共有システムを使用する。</p> <p>(1) 現場事務所等に情報共有システムが使用可能な以下に示す程度のインターネット環境を整えること。なお、現場条件等により当該整備が不可能な場合は、監督員と協議すること。</p> <p>【インターネット環境】：プロードバンド回線 【パソコンOS】：Microsoft Windows 8/10</p> <p>情報共有システムとは、工事期間中において受発注者間でインターネットを介して協議簿、図面等の各種データのやり取りを行い、情報共有サーバーを用いてそれらのデータを共有・交換するものである。</p> <p>(2) 受注者は沖縄県GALシステムの利用にあつては、1件当たり67,000円に消費税相当額を加えた使用許諾料を「沖縄県GALシステム運営業務」を受諾している者に支払うこと。</p> <p>(3) 沖縄県GALシステムの使用許諾料を支払ったときは、速やかに監督員に支払いの事実を報告し、確認を受けること（支払いの事実を証明する書類（銀行振り込みの写し等）を提出）。</p>	測定対象室	測定箇所数	備考							<p>24 標識その他 (1. 7. 4)</p> <p>⑳ 機材</p> <p>㉑ 施工</p> <p>㉒ 耐震施工</p> <p>28 磁気深査</p> <p>㉓ その他</p>	<p>主機棟室に機器等の取扱い方法、点検項目及び系統図を記載したアクリル樹脂製の案内板を設ける。記載内容、設置場所等は監督員の承諾を受けること。</p> <p>監督員の指示がある場合を除き、工事に使用する機材の規格、性能等は図示（機器仕様書等）によるほか標準仕様書等、標準図による。</p> <p>監督員の指示がある場合を除き、工事の施工は、図示によるほか標準仕様書等、標準図による。</p> <p>(1) 耐震施工は下記による。ただし、設計用標準震度が図示された場合は指定された設計用標準震度を用いて耐震施工を行う。</p> <p>・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」</p> <p>(2) 建物への配管の引込部の耐震処置及びエキスパンションジョイント部の配線は、図示によるほか標準図による措置を施す。</p> <p>本工事は磁気深査業務を含む。実施は「磁気深査実施要領（案）平成25年4月」（沖縄県土木建築部）によるものとし、位置は図示による。</p> <p>(1) 承諾図を提出する際は必ず設計図書と照らし合わせながらチェックマーク（√）を記入したものを提出すること。</p> <p>又、配管・配線等は使用する名称にカラーマークで示す。</p> <p>(2) 図面内にメーカー用製造番号は参考程度とする。</p> <p>(3) 空調機器等の電源供給は指定されたメーカーの電源仕様を確認すること。</p> <p>(4) 既設建物への配管の接続等がある場合は、必ず着手前に事前調査を行い問題がないかを報告すること。</p> <p>(5) 施工に関連した粉塵等に含まれる、感染性粒子によって引き起こされる真菌感染症の防止対策のため、感染症専門職員の指導の下、対策を実施すること。</p>	<p>① 総合調整 (1. 3. 2)</p> <p>② 配管材料 (2. 1. 2)</p> <p>3 埋設配管</p> <p>④ 保温工事 (3. 1. 1)</p> <p>⑤ 塗装 (3. 2. 1)</p> <p>⑥ 仮設工事 (4. 1. 1)</p> <p>⑦ 土工事 (4. 2. 1)</p>	<p>総合調整は以下の項目を行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 風量調整</li> <li>○ 水量調整</li> <li>○ 室内外空気の温湿度の調整</li> <li>○ 室内気流及びじんあいの調整</li> <li>○ 騒音、振動の調整</li> <li>○ 飲料水の水量の調整</li> <li>○ 運転状態（総合調整結果）の記録</li> </ul> <p>※</p> <p>管材は別表一2による。ただし、図示されたものを除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地中埋設機の設置は図示によるほか、屋外埋設管の分岐、曲り部に設置する。</li> <li>・ フラスコルト舗装以外の地中埋設機は、（・コックリート製 ・鉄製）とする。</li> </ul> <p>図示及び契約図書等に記載されたものを除き、保温は不要とする。また、保温の種類別、施工箇所等は図示による。</p> <p>露出部分は全て塗装を施すこと。</p> <p>本工事で必要な動力用光熱費等の費用は、請負者の負担とする。</p> <p>監督員事務所を本工事で（※設置しない ・ 設置する（ ・ 構内 ・ 構外 ・ 既存建物内一部使用））。</p> <p>監督員事務所に設置する備品等の種類及び数量は以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置する備品等の種類</th> <th>数量</th> <th>設置する備品等の種類</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 足場の組立て、解体又は変更の作業を行う場合は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>残土処分は、（※構外適切処分 ・ 構内敷ならし）とする。</p>	設置する備品等の種類	数量	設置する備品等の種類	数量									<p>③ 空気調和設備</p> <p>1 空気調和機</p> <p>2 制気口</p> <p>3 ダクト (2. 2. 1)</p> <p>4 ダクト付属品 (2. 2. 7)</p> <p>⑤ 設計温湿度条件</p> <p>⑥ その他</p>	<p>(1) 請負者が代行で行う諸官公署手続き費用等は、請負者の負担とする。</p> <p>(2) 以下の負担金は請負者の負担とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水道引込に係る負担金（円）</li> <li>・ 税金</li> <li>・ カス引込に係る負担金（円）</li> </ul> <p>※</p> <p>(3) 図示されたものを除き、以下による</p> <p>※</p> <p>室外機は、図示された場合を除き以下による。</p> <p>※ 耐塩処理を施す。（原則、県内工場施工。5年間保証。）</p> <p>※ 端子板にヤモリガード対策を施す。</p> <p>図示されていない制気口の材質は、（ ・ 鋼板 ・ アルミニウム板）とする。</p> <p>長辺が1,500mm以下の長方形ダクトは、図示された場合を除き、（ ・ アンゲルフラッヅ ・ コーナーボルト（ ・ 共板フラッヅ ・ スライドオンフラッヅ）工法とする。</p> <p>風量測定口の取付位置は図示のほか、以下による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 送風機吐出側</li> <li>・ 送風機吸込み側</li> <li>・ 外気取入れダクト</li> </ul> <p>設計温湿度条件は以下による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外気</th> <th colspan="2">室内（ ）</th> </tr> <tr> <th>温度 (°C)</th> <th>湿度 (%)</th> <th>温度 (°C)</th> <th>湿度 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏季</td> <td>32.8°C</td> <td>68.3%</td> <td>26.0°C</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※フイルターの設置は除外とする。</p> <p>※空調機搬入時には、ダクト等の一時撤去、再取付を行うこと。</p> <p>※機器取替の際は、空調機本体横に設置されている仮設フアンを撤去後、機器い設置を行うこと。</p>		外気		室内（ ）		温度 (°C)	湿度 (%)	温度 (°C)	湿度 (%)	夏季	32.8°C	68.3%	26.0°C	50.0%	冬季				
測定対象室	測定箇所数	備考																																																								
測定対象室	測定箇所数	備考																																																								
設置する備品等の種類	数量	設置する備品等の種類	数量																																																							
	外気		室内（ ）																																																							
	温度 (°C)	湿度 (%)	温度 (°C)	湿度 (%)																																																						
夏季	32.8°C	68.3%	26.0°C	50.0%																																																						
冬季																																																										
23 情報共有システムの使用																																																										

## 沖縄県立中部病院

日付	2020. 05. 22	工事名称	県立中部病院本館 厨房系統外気空調機取替修繕工事	編尺	N/S
作図	施設管理技士 宮平	図面名称	特記仕様書③	図面番号	M-03

別表一1（関連工事との取り合い）	工事内容	本工事		
		機械	電気 建築	
機器の基礎	屋内設置（課題、アンカーボルトを除く）	・	※	
	屋上設置（課題、アンカーボルトを除く）	・	※	
	屋外設置（課題、アンカーボルトを除く）	※	・	
	架台、アンカーボルト	※	・	
	スリープ	※	・	
	貫通スリープ（はり、床、壁）	・	※	
	補強鉄筋	※	・	
	スリープの穴理め	※	・	
	箱入れ	箱入れ	※	・
	（はり、床、壁）	補強鉄筋	・	※
天井、壁切り込み	型枠の穴理め	※	・	
	墨出し	※	・	
開口部補強	下地組み、ボード類切り込み（埋込照明器具、スビーカー等）	・	※	
	軽量鉄骨天井、壁下地	・	※	
インサート	インサート	※	・	
	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む	・	※	
外気取入ガラー	換気扇の取付枠	※	・	
	換気扇の取付枠	※	・	
電気配管配線	機器付風の制御盤及び操作盤以降の配管、配線	※	・	
	機器付風の制御盤及び操作盤への電源供給配管、配線	・	※	
	天井吊り機器（空調機、空調換気扇）の本体と操作スイッチ間の配線	・	※	
	上記の配線	※	・	
	パツケージ型空調機器などで屋内機と屋外機との間の配管	・	※	
	上記の配線	※	・	
	電極棒及びフロートスイッチの本体	※	・	
	上記の配管、配線	・	※	
	電気配管	・	・	
	電気配線	・	・	
自動制御	電源供給	・	※	
	コントロール躯体	・	・	
浄化槽	基礎コントロール	※	・	
	基礎杭	・	・	
	根切り、埋戻し	※	・	
	残土処理	※	・	
	防護柵	・	・	
	土止め工事	・	・	
	保護砂	・	・	
	湧水処理	・	・	
	送風機室（換気用送風機を含む）	・	・	
	操作盤までの1次側電気工事	・	・	
操作盤以降の2次側電気工事	※	・		
ルーフトレイン及び立て桶	・	※		
桶	立て桶接続用埋設機引管	・	※	
流し類	台所流し台、手洗い流し台（SUS人研ぎ共）	・	※	
	上記配管接続	※	・	
化粧鏡	衛生陶器メーカー規格外の物	※	・	
	衛生陶器メーカー規格外の物	※	・	
カウンター	はめ込洗面器カウンター	※	・	
	衛生器具廻り	※	・	
身障者用手すり	その他手すり	・	※	
	※配線は接続を含むものとする。			

特記事項

- 空調機器、換気機器、衛生機器、器具類及び配管、ダクト等の設備機器全ての撤去を行う。又配管撤去等により使用建物へ支障がないよう仕切り止め等を行う。
- 配管撤去等による使用建物の損傷部分は現状復旧を行う。
- 保温材は、配管・ダクト等より分離する。
- ダクト及び配管等の支持金物・吊りボルト等は本工事で撤去する。
- ダクト及び配管等の接続用カスケット、ハッキン・吊りボルト等は適切な処理を行うこと。
- 冷 媒 （フロン系の破壊）
  - 冷媒の破壊処理は、フロン回収破壊法に基づき許可されたフロン回収破壊業者により行う。
  - 冷 媒 （フロン系の破壊）
    - 冷媒の破壊処理は、フロン回収破壊法に基づき許可されたフロン回収破壊業者により行う。
    - フロン回収業者許可書
    - 監督員に次の書類の写しを提出すること。
    - フロン破壊数量の記録

- 撤去された再生材は、再資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令等によるほか、建築副産物適正処理推進条例に依り適切に処理する。
- 工事の着手、施行、完成にあたり関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。
- アセスメントの調査及び撤去に関しては、監督員と協議すること。

別表一2（管材）	用途	管材
冷温水管	屋内一般配管	圧力配管用炭素鋼鋼管
	機械室・便所配管	圧力配管用炭素鋼鋼管
冷却水管	屋外配管（架空、暗渠内、共同構内）	圧力配管用炭素鋼鋼管
	地中配管	圧力配管用炭素鋼鋼管
蒸気管	屋内一般配管	圧力配管用炭素鋼鋼管（黒管）
	機械室・便所配管	圧力配管用炭素鋼鋼管（黒管）
高温水管	屋外配管（架空、暗渠内、共同構内）	圧力配管用炭素鋼鋼管（黒管）
	地中配管	圧力配管用炭素鋼鋼管（黒管）
油管	屋内一般配管	圧力配管用炭素鋼鋼管
	機械室・便所配管	圧力配管用炭素鋼鋼管
フライング管	屋外配管（架空、暗渠内、共同構内）	圧力配管用炭素鋼鋼管（黒管）
	地中配管	圧力配管用炭素鋼鋼管（黒管）
冷媒管	屋内一般配管	冷媒・被覆銅管
	機械室・便所配管	冷媒・被覆銅管
給水管	屋外配管（架空、暗渠内、共同構内）	給水・耐衝撃性ホリ塩化ビニル管（HI-IP）
	地中配管	水道用硬質塩化ビニル管（SGP-VB）
給湯管	屋内一般配管	保温付被覆銅管
	機械室・便所配管	保温付被覆銅管
消火管	屋外配管（架空、暗渠内、共同構内）	消火・塩ビ・被覆銅管（SGP-US）
	地中配管	消火・塩ビ・被覆銅管（SGP-US）
排水管	屋内一般配管	排水・硬質ホリ塩化ビニル管（VP）
	機械室・便所配管	排水・硬質ホリ塩化ビニル管（VP）
通気管	屋外配管（架空、暗渠内、共同構内）	通気・硬質ホリ塩化ビニル管（VP）
	地中配管	通気・硬質ホリ塩化ビニル管（VP）
ガス管	屋外配管（架空、暗渠内、共同構内）	フロン・配管用炭素鋼鋼管（白）
	地中配管	フロン・配管用炭素鋼鋼管（白）

特記事項
※冷媒管に断熱材被覆管を使用した場合の断熱材厚さは、液管10mm以上、ガス管20mm以上とする
ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。

※給湯・銅管（保温使用は、公共建築物工事標準仕様書 表2.3.5（Q2）（ロ）.1）関係が500㎡未満は、保温厚20㎜/㎡以上の保温材巻とする。

- 第 一般事項
  - 適用範囲

中部病院本館 厨房系統外気空調機取替修繕工事（機械設備）に適用する。

公共建築物改修工事標準仕様書（平成31年版）、関連法規（建設リサイクル法、廃棄物処理法、資源有効利用促進法等）及び国土交通省建設リサイクルガイドラインを遵守し、施行を行う。

2 用語の定義
本仕様書において用いる用語の意味は、次のとおりとする。

- 「分別解体」とは、建築物等に用いられた建設資材に係る廃棄物に係る処理形態に応じて分別し、当該建築物を計画的に解体する行為をいう。
- 「破壊解体」とは、圧碎機又はブローカー等により、躯体を破壊して解体する行為をいう。
- 「転倒解体」とは、壁・柱等の転倒方向を定め脚部の一部を破壊し、所定の方向に転倒させ解体する行為をいう。
- 「部分解体」とは、カッター又はワイヤー等により、躯体を部材ごと、又は柱と梁等の部材が組み合ったブロックごとに、切り離し解体する行為をいう。
- 「自立状態」とは、対象となる柱又は壁等が、控となっていた他の架橋や壁等から切り離され、自立した状態をいう。

## 2 節 調査・事前措置

### 1 施工調査

解体施工に係る施工調査は、特別管理処理、再使用、再資源化等に分類し調査を行う。

- 設計図書と現場との整合性を調査する。

- 施工計画、処理方法

- 上記 1) 2) をまとめて報告書作成

### 2 事前措置

a) 特別管理産業廃棄物がある場合は、特別管理産業廃棄物等の処理に先立ち、種類別に具体的な処理計画、改修計画を定め施工計画に記載する。

- 建築物等の解体に先立ち、各種設備の供給が停止していることを確認する。

なお、給水管、排水管、消火管、ガス管の供給管等の切断は、次の1）及び2）による。

- 切断は、躯体に支障がない位置で適切に行い、給水管、ガス管類は、一次側をプラグ止めとする。また、切断位置は、記録を残し、監督員に提出する。
- 新たに配管等の切り回しが必要となる場合は、監督員と協議する。

- 落下するおそれのある付属物は撤去する。
- 建築物等の解体に際して、周辺環境に害虫等による影響が予想される場合は、駆除等を行う。
- 衛生器具等は、十分に洗浄を行い、汚水、汚物等による異臭の発生を防止する。

- 浄化槽、排水槽等で汚水及び汚物の残留がある場合は、回収を行うとともに洗浄を行い、異臭の発生と周囲及び地中の汚染を防止する。
- 各配管の撤去に関して、周辺に影響のないよう飛散防止又は安全計画指針に準拠すること。

3 節 建築物の解体手順
解体手順は次の1）から7）による。ただし、解体施工の技術上これにより難しい場合は手順を変更し監督員に報告する。

- 建築設備
- 内・外装材
- 屋根瓦材等
- 躯体
- 基礎・杭その他
- 構内舗装等
- 地下埋設物、埋設配管

### 4 節 建築設備

- 建築設備は、次の1）から6）に分別解体する。
- 配管及びダクト
- 機器類
- 保温材
- 浄化槽、ユニットバス
- 衛生陶器類
- その他の機械設備

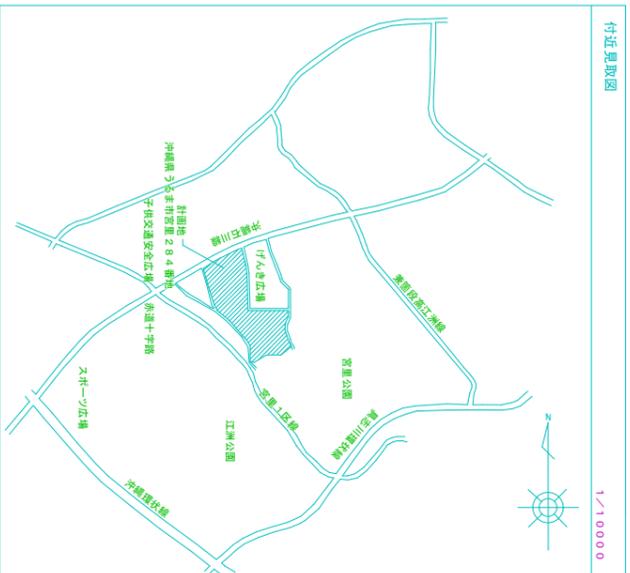
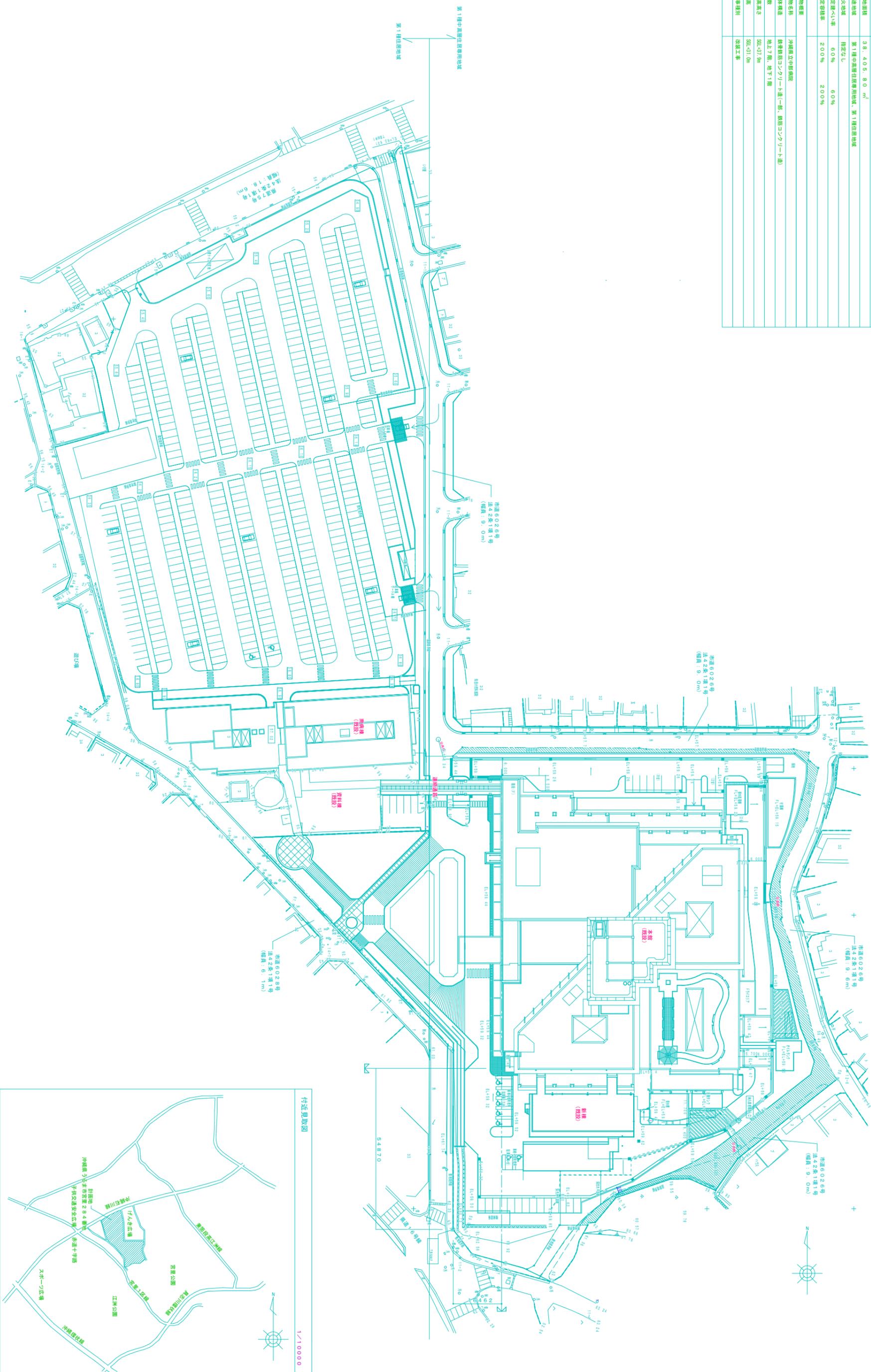
### 5 節 再資源化

- 下記の項目については、再資源化を行うものとする。
  - 配管及びダクト
  - 機器類

# 沖縄県立中部病院

日付	2020. 05. 22	工事名称	県立中部病院本館 厨房系統外気空調機取替修繕工事	縮尺	N/S
作図	施設管理技士	図面名称	特記仕様書④	図面番号	M-04

計 画 概 要	
敷地概要	
所在地	沖縄県うるま市笠原2814番
敷地面積	38,405.80㎡
用途地域	第1種中高層住居専用地域、第1種住居地域
防火地域	指定なし
法定種別	6.0% 6.0%
法定容積率	2.00% 2.00%
建物概要	
建物名称	沖縄県立中部病院 救急救護センタートクト（一部、救急センター通）
階数	地上7階、地下1階
最高高さ	50.037m
軒高	50.031m
工事種別	改築工事

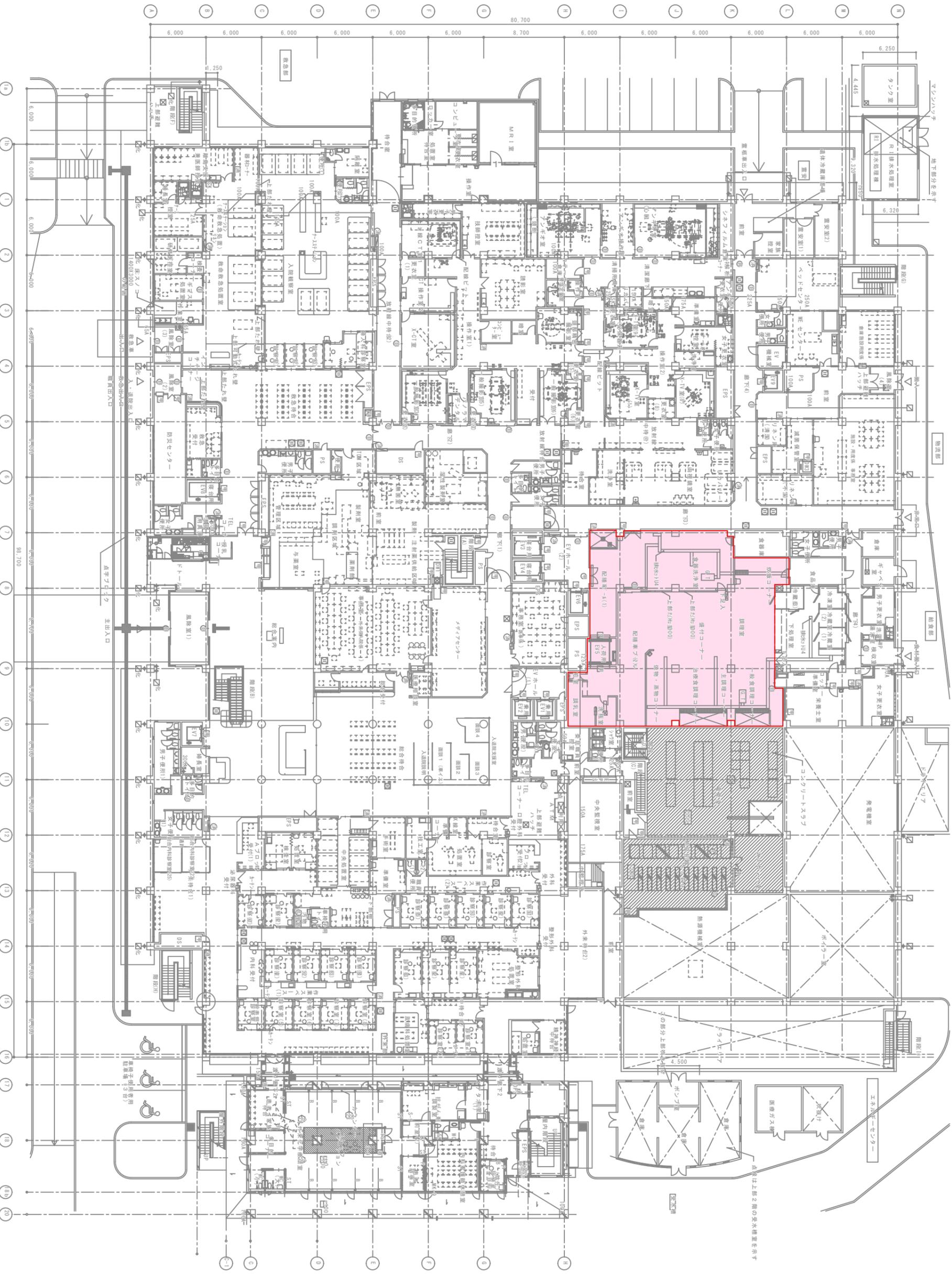


# 沖縄県立中部病院

日付 2020.05.22  
 作図 施設管理技士 宮平

工事名称 県立中部病院本館 厨房系統外気空調機取替修繕工事  
 図面名称 配置図・案内図  
 縮尺 N/S  
 図面番号 M-05

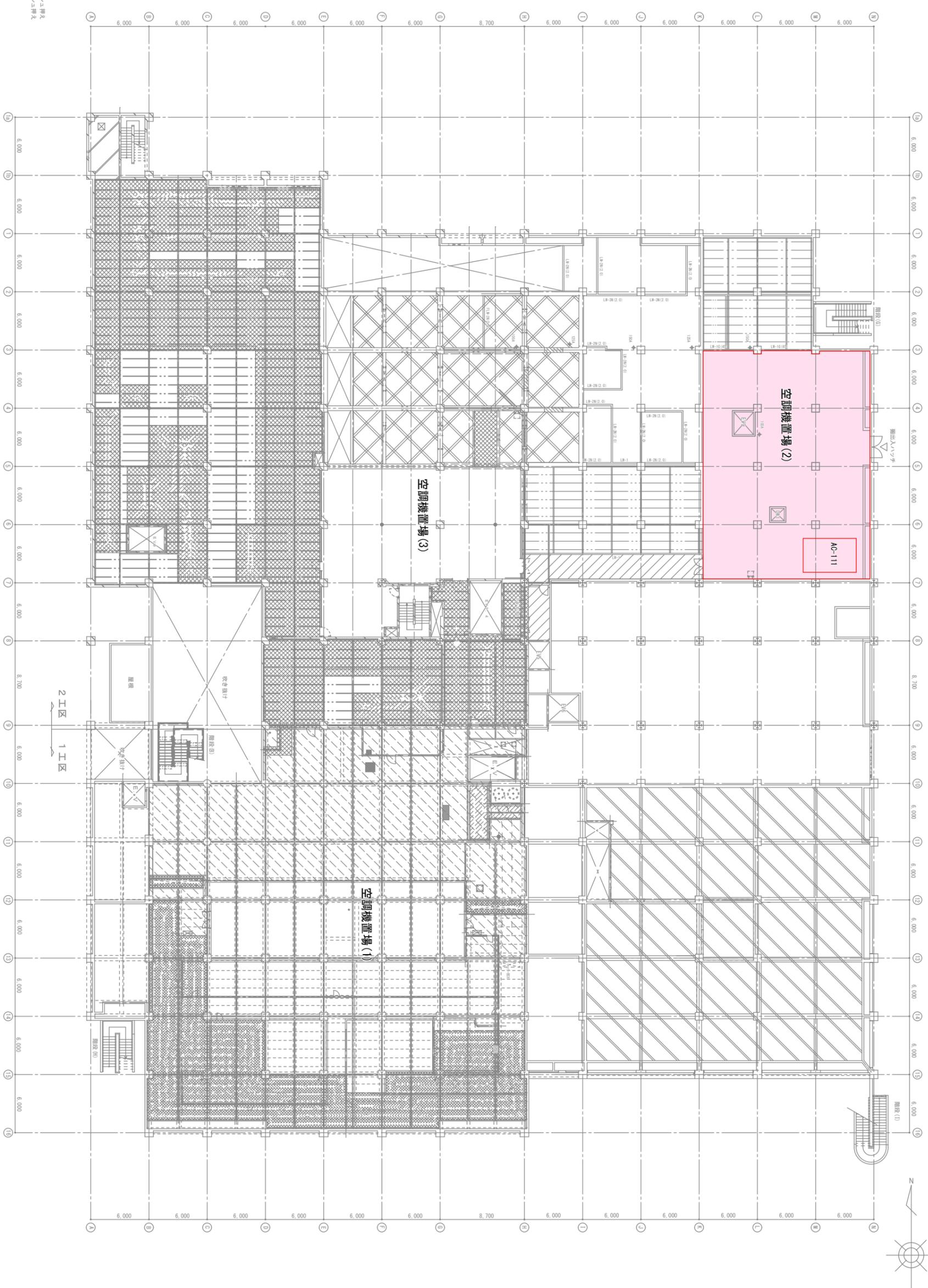
※ 赤枠内 取替空調機 空気調和箇所



沖縄県立中部病院

日付	2020.05.22	工務名称	県立中部病院本館 厨房系統外気空調機取替修繕工事	縮尺	N/S
作図	施設管理技士 宮平	図面名称	厨房1階平面図	図面番号	M-06

※赤枠内 取替空調機設置箇所



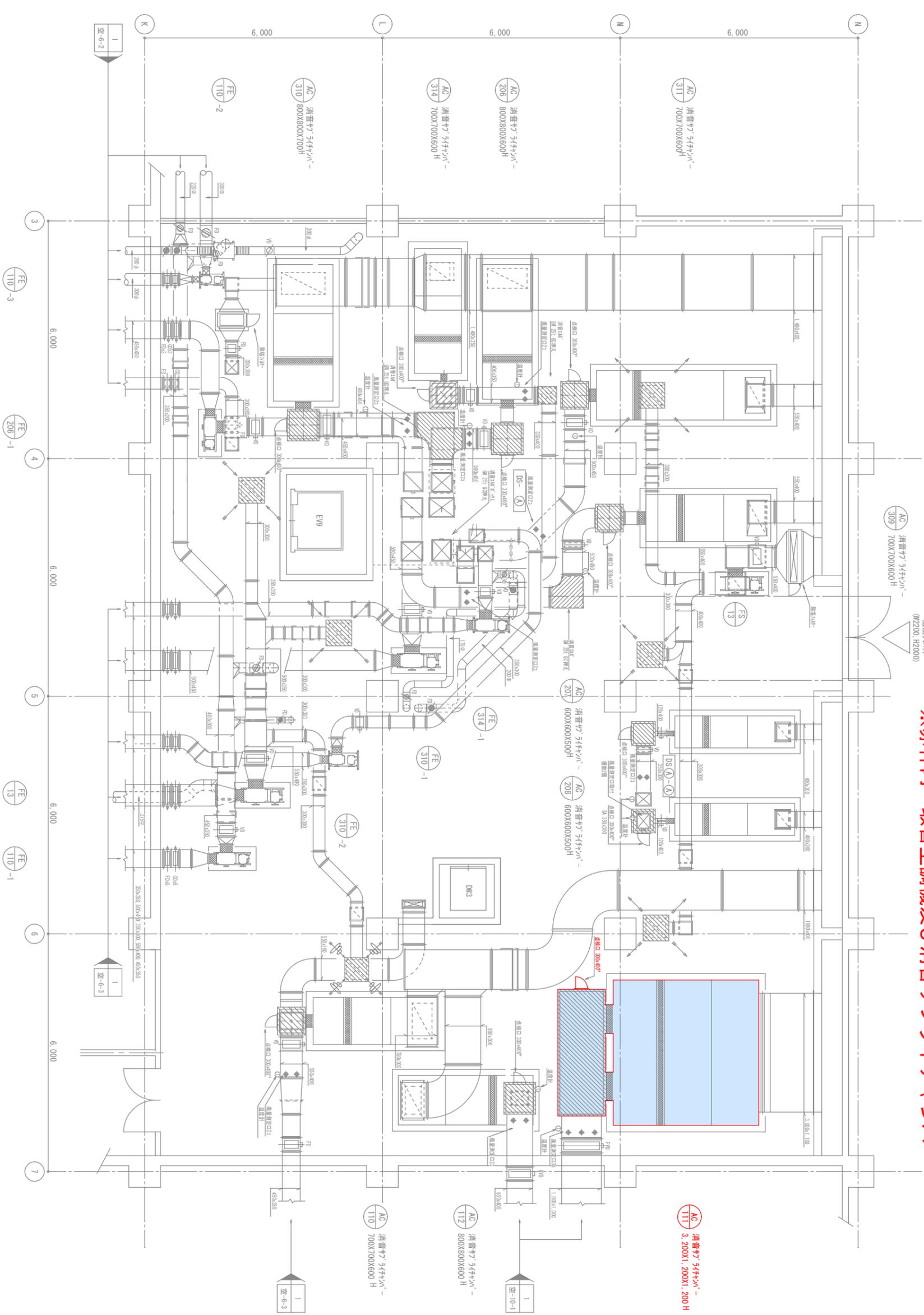
※空調機置場(1) (2) (3)の仕上  
 床：滑面防水  
 中床：滑面防水(00)  
 壁：ガラスワール保護板①00ガラスメッシュ付  
 天井：ガラスワール保護板①00ガラスメッシュ付

沖縄県立中部病院

日付	2020. 05. 22	工事名称	県立中部病院本館 厨房系統外気空調機取替修繕工事	縮尺	1/200
作図	施設管理技士 宮平	図面名称	1SS階平面図	図面番号	M-07

※機器搬入・撤去の際は、搬出入ハッチ屋外設置の鉄骨庇 取り外して行うこと。

※赤枠内 取替空調機及び消音サライチャンバー



日付	2020.05.22	工事名称	県立中部病院本館 厨房系統外気空調機取替修繕工事	縮尺	1/50
作図	施設管理技士 宮平	図面名称	空調機器配置図	図面番号	M-08

# エアハンドリングユニット仕様書

系 統 名	AC-111 給食部門			
機 種 名 × 台 数	AHCV66EB × 1 台			
主 電 源	3相200V・60Hz			
給 気 フ ァ ン	風 量	36,200 m <sup>3</sup> /h		
		603.3 m <sup>3</sup> /min		
	外 気 量	36,200 m <sup>3</sup> /h		
	機外静圧(全静圧)	402(813)Pa[41(83)mmH <sub>2</sub> O]		
	名 称	シロコファン		
	形 式	2D3 1/2C		
	風 量 制 御	手動加冷ダクト		
	電動機	形 式	全閉外扇	
		出力×台数	15.0kW × 1	
ファン回転数	870 min <sup>-1</sup>			
冷 水 コ イ ル	冷 却 能 力	424.3KW [364,900 kcal/h]		
	入口空気温度 DB/WB	32.1 °C / 27.6 °C		
	冷 水 温 度	7.0 °C / 12.0 °C		
	水 量	1220.0L/min		
	損 失 水 頭	16 KPa [1.6mH <sub>2</sub> O]		
	加 熱 能 力	—		
	入口空気温度 DB/WB	—		
	温 水 温 度	—		
	水 量	—		
	損 失 水 頭	—		
	コイル仕様	6列(トリプル) W366T324_C 最高使用圧 0.98MPa G		
コイル前面積/コイル面風速	4.452 m <sup>2</sup> / 2.26 m/s			
加 湿 器	種 類	—		
	形 式	—		
	有 効 加 湿 量	—		
	電 源	—		
フ ィ ル タ	プレフィルタ	プレフィルタ AFI重量法80%		
	種 類	—		
	メインフィルタ	ソルトフィルタ NBS比色法90%		
	種 類	—		
特殊フィルタ	—			
種 類	—			
塗 装 色	アボリ(アボリホワイト)5Y7.5/1			

## 備考

- ・厚生省仕様(1998年版)
- ・スプリング防振
- ・予備フィルター付属
- ・差圧計, 差圧スイッチ付
- ・GW25tクロス貼り

Job\_no JHH99-2010

ダイキン工業株式会社

Ver.201a

水用コイル能力計算 [冷房]

機種名 (AC-111)AHCV66EB

コイル仕様

必要能力 Q = 424.3 KW (364,900 kcal/h)  
 段数 ND = 36  
 有効長 LA = 3.240 m  
 フィンピッチ FP = 3.5 mm  
 フィン形状 FK = フッフル  
 管径 KS = 15.9  
 水回路数 MN = 108

空気条件

基準風量 QA = 603.3 CMM  
 入口乾球温度 TA1 = 32.1 °CDB  
 入口湿球温度 TAW1 = 27.6 °CWB

冷温水条件

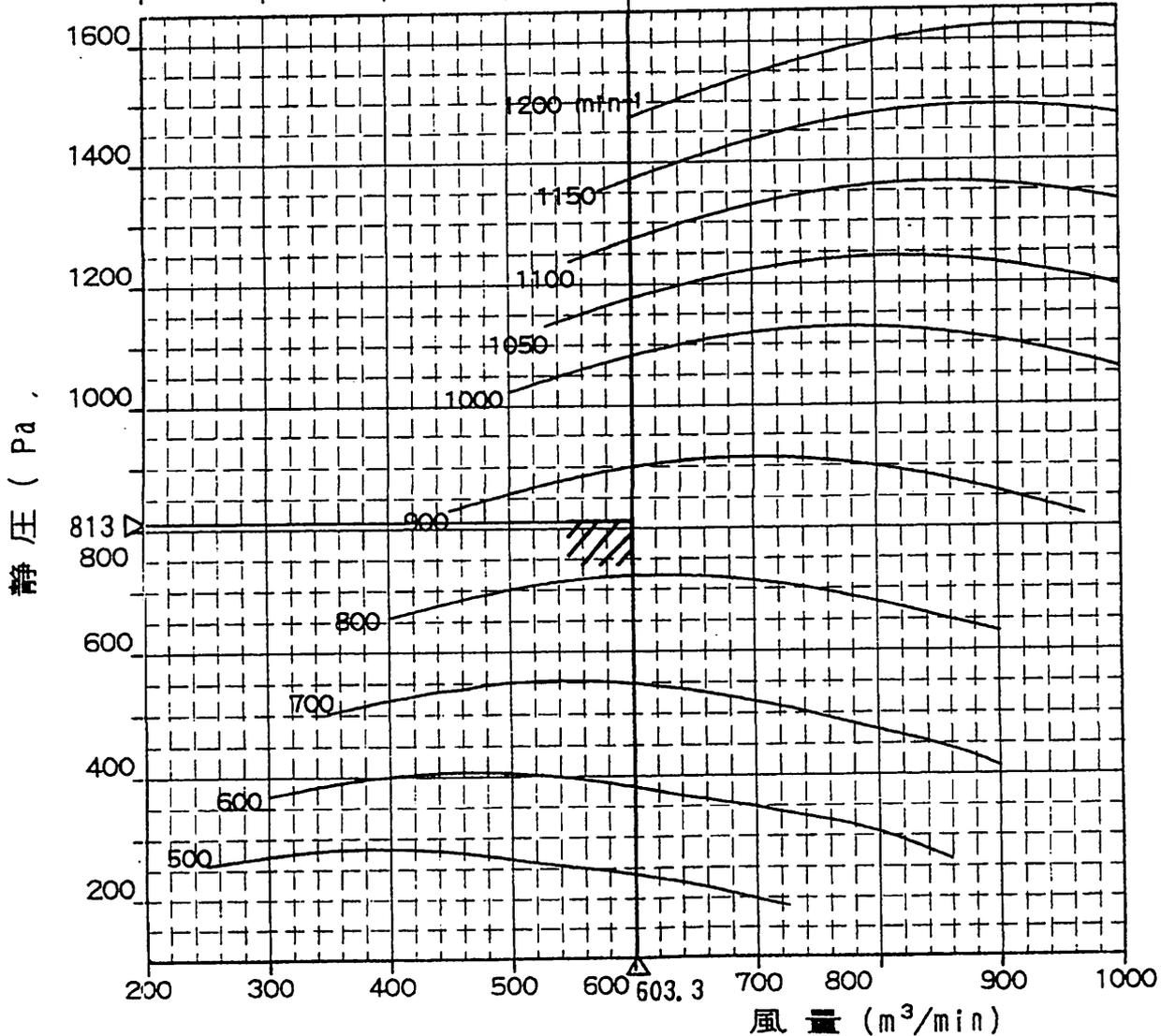
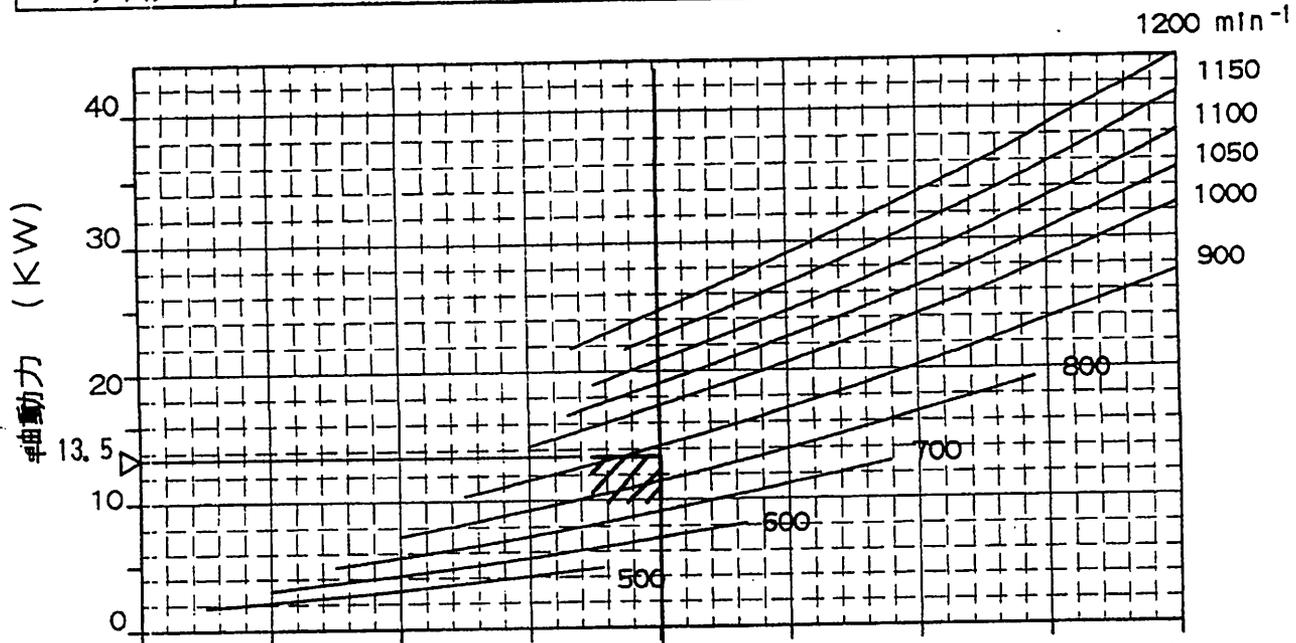
基準水量 LW = 1216.3 l/min  
 入口温度 TW1 = 7.00 °C

☆ 計算結果 ☆

計算列数 NR = 3.8  
 前面風速 VA = 2.26 m/sec  
 管内水速 VW = 1.09 m/sec  
 出口水温 TW2 = 12.00 °C

# ファン性能曲線

系統名	AC-111	機種名	AHCV66EB
仕様風量	36200 m <sup>3</sup> /h	全(機外)静圧	813(402) Pa
ファン形式	2D31/2C	ファン回転数	870 min <sup>-1</sup>
モータ出力	15 KW		

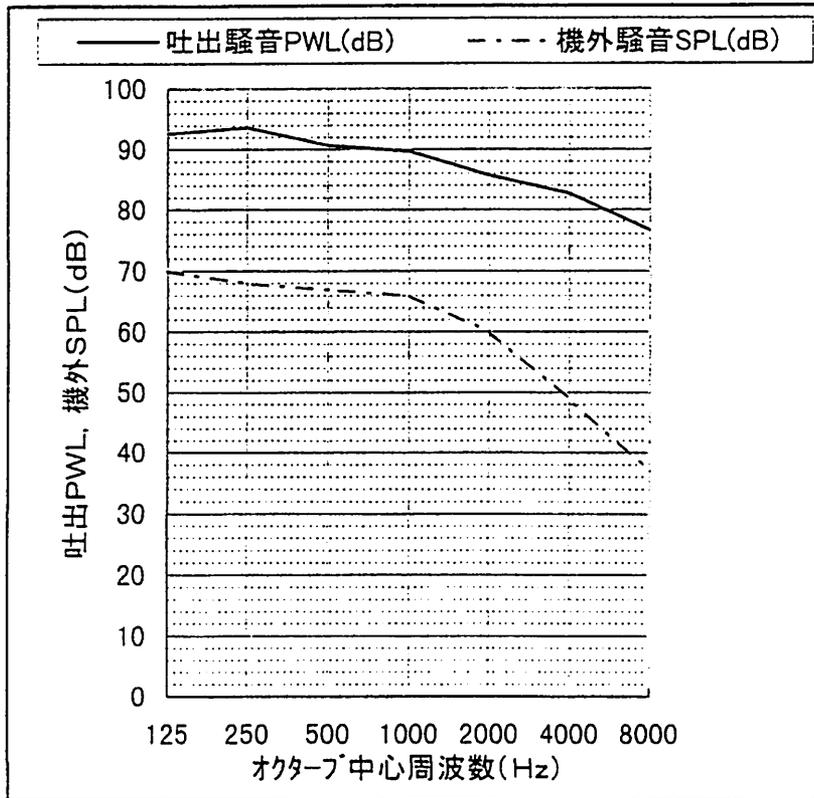


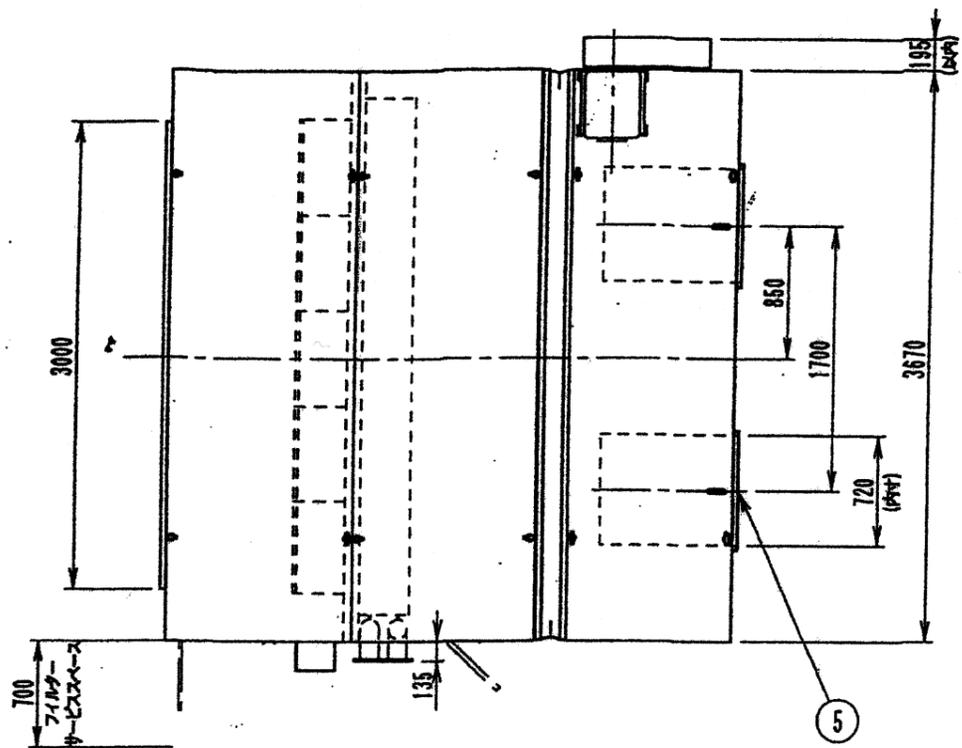
沖縄県立中部病院改築工事(空調設備第3工区)殿

空気調和機推定騒音

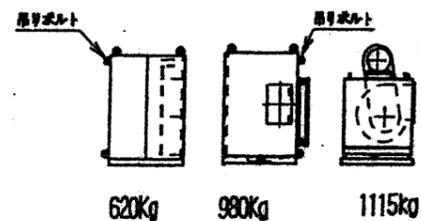
系統名: AC-111  
 機種名: AHCV66EB  
 風量: 36200 m<sup>3</sup>/h  
 全静圧: 813 Pa

中心周波数(Hz)	125	250	500	1000	2000	4000	8000
吐出騒音PWL(dB)	92.7	93.7	90.7	89.7	85.7	82.7	76.7
機外騒音SPL(dB)	70	68	67	66	60	49	37
機外運転音オーバーオール値 = 69.5 dB(A) (機器正面1.5m, 高さ1.0m)							



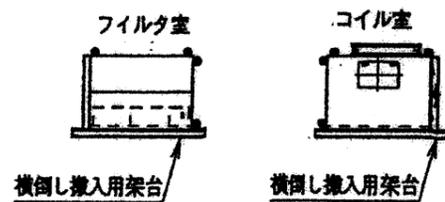


分割姿図

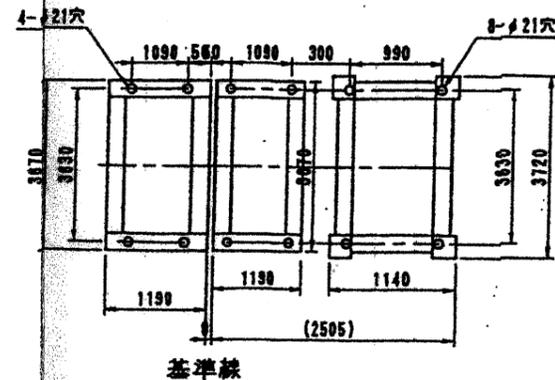


注) 吊り位置注意のこと

出荷時横倒し搬入用架台取付のこと

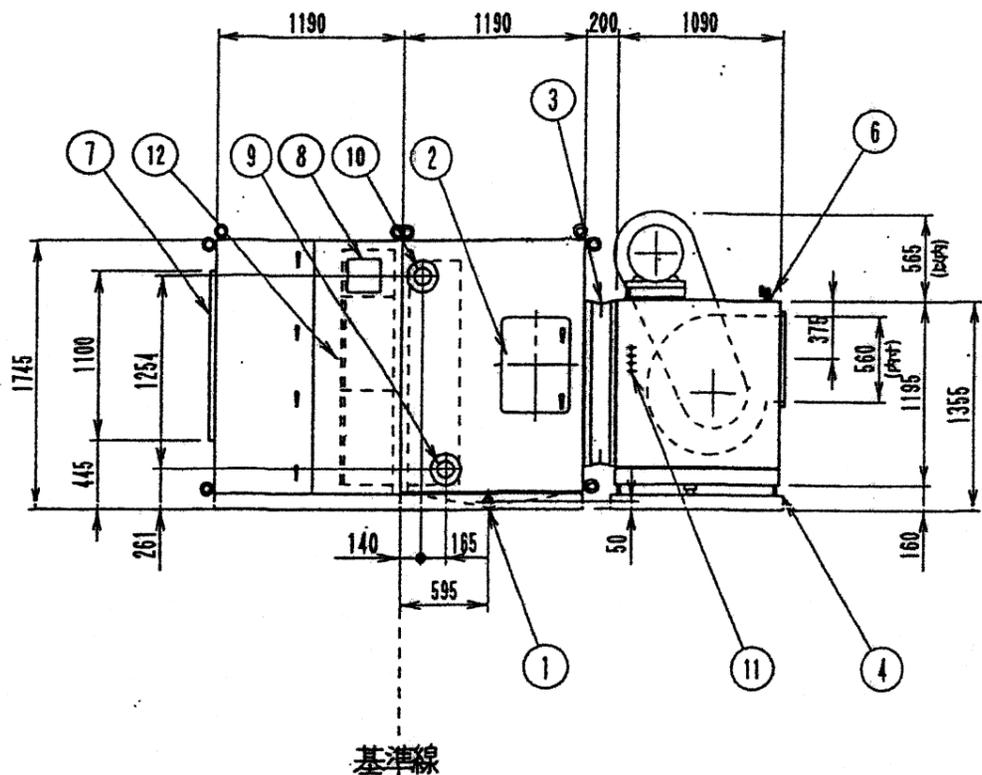


基礎穴位置図



- ⑫ 高効率フィルタ (除塩)
- ⑪ グリース給油口 右勝手
- ⑩ 水用コイル出口 (左) 100A フランジ
- ⑨ 水用コイル入口 (左) 100A フランジ
- ⑧ 差圧計, 差圧スイッチ
- ⑦ 空気吸入口 (OA)
- ⑥ ダンパーハンドル 開度表示計付
- ⑤ 空気吹出口
- ④ 防振台 スプリング式
- ③ 防振キャンバス
- ② コイル室点検口 (左) 400 x 600
- ① ドレン出口 (左勝手) 50A オネジ

注) ケーシングの寸法はフレーム基準とします。  
最大寸法は記入寸法に外板立上り寸法 (片側 15mm) を加えたものとなります。  
コイルの空気抜き, 水抜きは配管途中に貴方にてご施工ください。



△ H12.4.25  
マリンテラ削除  
(現地)

深見

△ H12.1.27  
図番を録  
に付改正

深見

△ H12.1.24  
モータ位置変更  
他

酒井

△ H12.1.18  
吊り位置明記  
他

酒井

沖縄県立中部病院改築工事  
(空調設備第3工区) 殿

尺 度	1/45
来 歴	
作 成 日	H11.9.7
受 注 番 号	CHA10ナ08
製 作 数	1

ダイキン工業株式会社

深見

酒井

名  
称  
管理  
No.

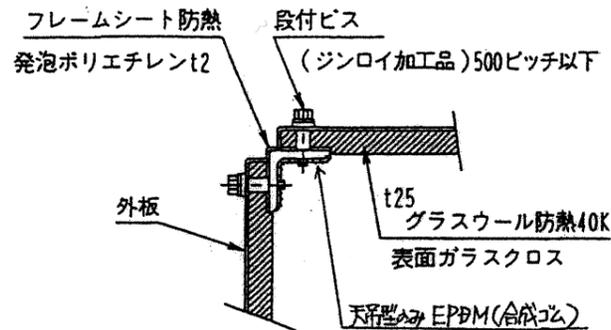
AC-111  
AHCV66EB

外形図

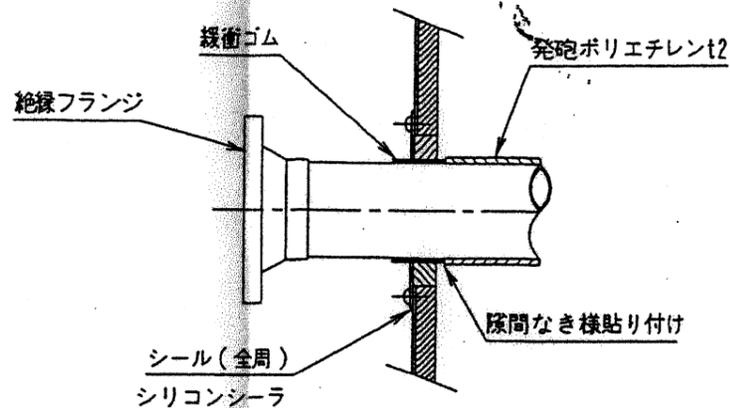
3V99V0243B  
JHH19-2010

図 番: FHH-00-0071-D

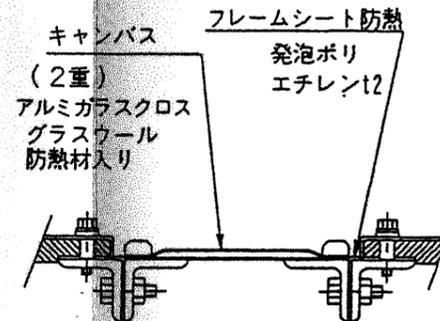
イ: 外板 (全てのケーシングに適用)



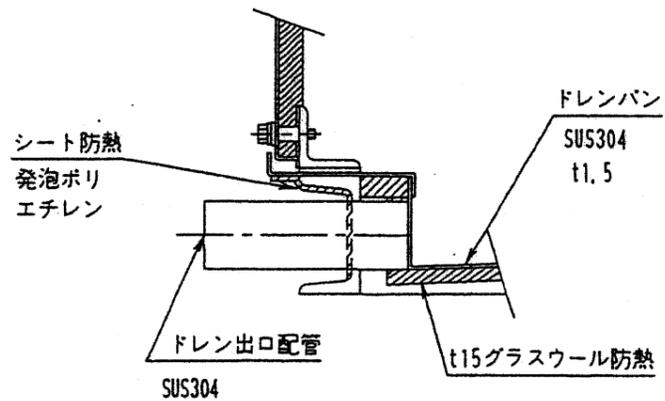
ハ: 配管外板貫通部



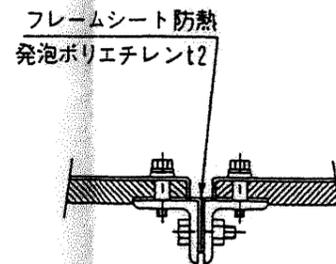
ホ: キャンバス



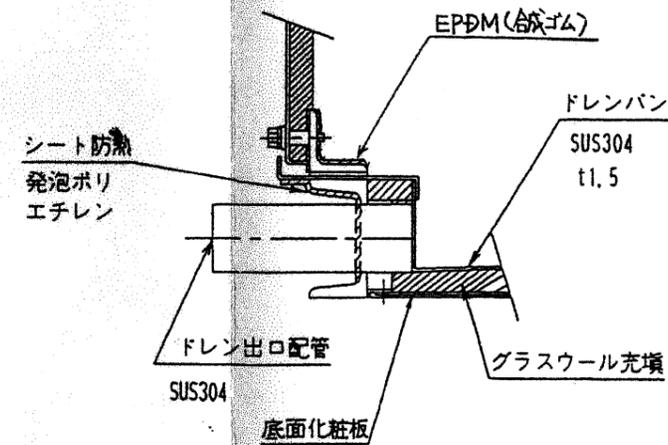
ロ: ドレンパン (床置形)



ニ: ケーシング接続部



ヘ: ドレンパン (天吊形)



△  
△  
00.3.13  
天井型フレーム防熱  
追加加工  
図番登録  
素見

沖縄県立中部病院改築工事  
(空調設備第3工区) 殿

尺 度	
来 歴	9904663
作 成 日	99.9.17
受 注 番 号	
製 作 番 号	

ダイキン空調沖縄株式会社

ダイキン工業株式会社

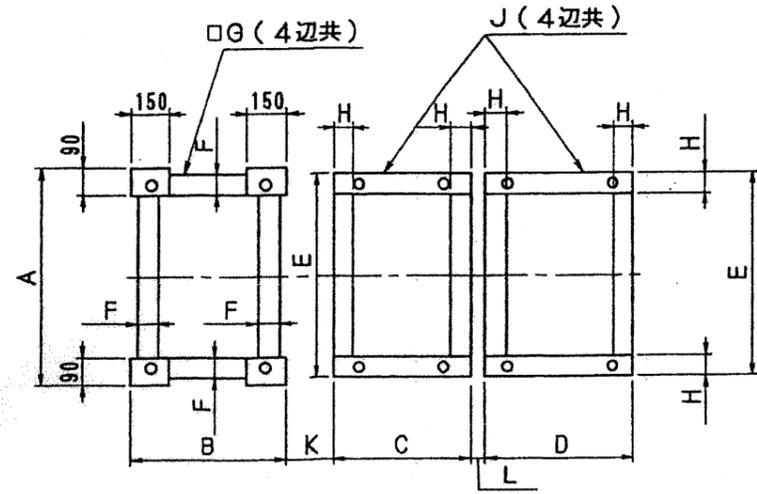
深見

名  
称  
管  
理

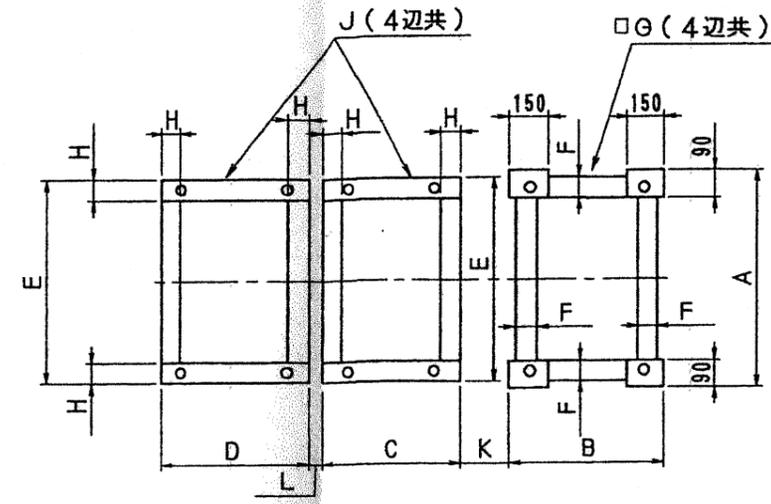
3V99V0384

断熱材詳細図

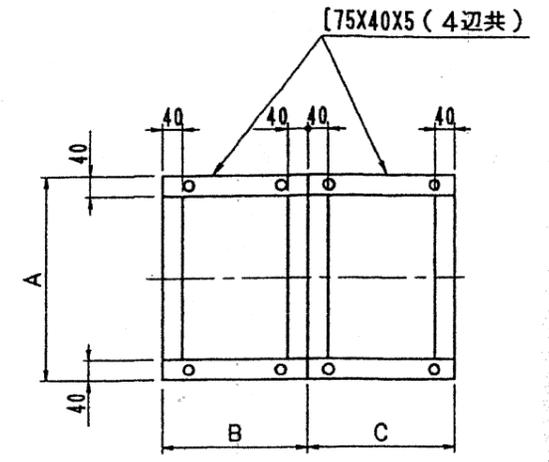
図 FHH-00-0166 A



A 図



B 図



系統名	機種名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	適用図
AC-110	AHCV7EB	1200	780	970	1190	1170	60	60x30	40	[75x40x5]	205	10	A 図
AC-111	AHCV66EB	3720	1140	1190	1190	3670	90	90x90	50	[100x50x5]	175	10	B 図
AC-112	AHCV10EB	1260	930	1070	1190	1230	60	60x30	40	[75x40x5]	205	10	A 図
AC-206	AHCV9EB	1260	930	1070	1190	1230	60	60x30	40	[75x40x5]	205	10	A 図
AC-207	AHCV3EB	820	700	920	1190	790	60	60x30	40	[75x40x5]	205	10	A 図
AC-208	AHCV3EB	820	700	920	1190	790	60	60x30	40	[75x40x5]	205	10	A 図
AC-309	AHCV8EB	1200	930	1070	1190	1170	60	60x30	40	[75x40x5]	205	10	A 図
AC-310	AHCV12EB	1510	930	1070	1190	1480	60	60x30	40	[75x40x5]	205	10	A 図
AC-311	AHCV9EB	1260	930	2070	1190	1230	60	60x30	50	[100x50x5]	205	10	A 図
AC-314	AHCV5EB	1200	780	970	1190	1170	60	60x30	40	[75x40x5]	205	10	A 図

系統名	機種名	A	B	C
AC-701	AVY13A	1150	1500	950
AC-704	AVY21A	1400	1300	950

沖縄県立中部病院改築工事  
(空調設備第3工区) 殿

尺 度	1/30
来 歴	
作 成 日	H11.12.21
受注番号	
製 作 数	1

ダイキン工業株式会社

酒井

架台詳細図

図番 3V00V0015

ユニット形空気調和機 照合表

(1/3)

製造者名 **ダイキン工業(株)**

項目	設計仕様	製造仕様
ケーシング	外装材質〔鋼板・亜鉛鉄板・電気亜鉛鉄板〕 厚さ 1.2mm以上	冷間圧延鋼板 板厚 1.2mm
	骨組等の寸法	別紙図面による。
	各セクション（ファンコイル及びコイル）に幅300mm以上、高さ500mm以上の点検口で各部の点検ができるものは兼用してもよい。 噴霧式の場合はのぞき窓を設ける。	幅300mm, 高さ500mm ×は 幅400mm, 高さ600mm のぞき窓なし
コイル	フィンの形状・フラット形・ウェーブ形 ・スリット形・ルーバー形	ウェーブ形
	管の材質 JIS H 3300 の C1100、C1201、C1220 管の肉厚 0.5mm以上	JIS H 3300 の C1220 肉厚 0.5mm
	フィンの材質・アルミニウム板(Al 鋳99%以上) ・アルミニウム箔(Al 鋳99%以上) フィンの板厚 0.15mm以上 フィンの耐食表面処理 ・アクリル系樹脂被膜・その他	アルミニウム板 ファン板厚 0.15mm アクリル系樹脂被膜
	水用ヘッダー ・JIS H 3300 鋼製・JIS G 5501 鋳鉄製 銅ヘッダーの場合配管接続管は鋼製とする。	JIS H 3300
	蒸気用ヘッダー ・JIS G 3452 鋼製・JIS G 3444 鋼製 ・JIS G 5501 鋳鉄製	
	コイル通過風速 2.5m/s 以下	2.5m/s 以下
	加湿器 ・蒸気噴霧式・JIS G 3448・JIS G 3459 の二重構造 ・水加圧噴霧式 ノズルは・黄銅製・セラミック製 ストレーナー、給水用電磁弁、圧力計からなり給水停止時等には、加圧式ポンプが自動的に作動しない。 ・水気化式 滴下式とヒートエレメント、定流量装置、電磁弁ストレーナー、給水ヘッド組込みケーシングはSUS304とする。 エレメントは自浄機能を有し、材質は難燃性、または不燃性とする。	・赤外線式加湿器(AC-311) ・自然蒸発式加湿器 (AC-401, 402, 501, 502) 601, 602, 701
エリミネーター	再飛散の恐れがなく取り外しが可能。 水加圧噴霧式の場合（気化式の場合は除く） 材質・ポリ塩化ビニリデン系繊維 蒸気コイル、蒸気加湿の場合 材質・ステンレスウール・アルミウール	
後日提出する 図書	完成図 取扱説明書 試験成績書	部 部 部

ユニット形空気調和機 照合表

(2/3)

項目	設計仕様	製造仕様
ドレンパン	ステンレス鋼板 (SUS304) 1.5 mm以上 排水管接続口 口径 32 mm以上	ステンレス鋼板 (SUS304) 1.5 mm 32 A 以上
送風機	<p>形式 ・多翼送風機 ・後向き羽根送風機</p> <p>インバータ制御及び自動式風量調整機構の場合を除き、機外からの風量調整の出来る機構及び開度指示を備える。</p> <p>・手動 ・自動</p> <p>羽根車及びケーシング</p> <p>材質は ・亜鉛鉄板 ・電気亜鉛鉄板 ・鋼板 ・アルミニウム材</p> <p>軸 JIS G 4051 S30C 以上</p> <p>設計風量 (m<sup>3</sup>/h)                      吐出風速 (m/s)</p> <p>・ 10,000 以下                      15 以下 ・ 10,000 を超え 20,000 以下      16 以下 ・ 20,000 を超え 30,000 以下      17 以下</p>	<p>・99翼送風機</p> <p>・手動スクローレダ付 (AC-402, 502, 602 はなし)</p> <p>・羽根車及びケーシング 冷間圧延鋼板</p> <p>・軸 JIS G 4051 S35C 以上</p> <p>・全系統 15 m/s 以下</p>
誘導電動機の規格及び保護方式	<p>・「共仕」各編で指定された機器</p> <p>・特記により指定された機器</p> <p>・製造者の標準仕様</p> <p>(1) 誘導電動機の規格</p> <p>・ 100V, 200V 単相誘導電動機 JIS C 4203</p> <p>・ 200V 三相誘導電動機 JIS C 4210</p> <p>・ 400V 三相誘導電動機 製造者規格標準品</p> <p>・ 3kV 三相誘導電動機 JEM 1380(寸法) JEM 1381(特性及び騒音)</p> <p>・ 6kV 三相誘導電動機 製造者規格標準品</p> <p>・ JIS 規格に進じたもの</p> <p>(2) 誘導電動機の保護方式 JIS C 4004</p> <p>屋外 JPW 44(全閉防まつ屋外形)</p> <p>屋内 ・JP 44(全閉防まつ形) ・JP 22S(防通保護形)</p> <p>爆発性ガスのある個所 JPE 44(全閉防爆形)</p> <p>屋外設置 (ケーシング・有・無)</p>	<p>低圧3相かご形誘導電動機 (一般用) JIS C 4210</p> <p>全閉防まつ形</p>

ユニット形空気調和機 照合表

(3/3)

項目	設計仕様	製造仕様
誘導電動機の 始動装置方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>三相 200V (電動機出力又はユニット等の合計出力)</li> <li>機器に制御盤及び操作盤が付属しない電動機 (スターデルタ始動器の使用できる構造)</li> <li>その他(特記 有・無)</li> </ul>	(合計出力 kW) 直入始動 (11kW未満) (AC-111のみ 11kW以上と対応) (スターデルタ始動器の使用できる構造)
断熱材	保温板 JIS A 9504 2号 40K、厚さ 15mm以上 表面処理 ケーシング内面 JIS R 3414 EP 18 ドレンパン外面は、難燃性・不燃性の発泡材	JIS A 9504 2号 40K 厚さ 25mm JIS R 3414 EP18 ドレンパン外面 同上 15mm
塗装	製造者標準仕様とする。	外板…メラミン樹脂焼付塗装 フレーム…エポキシ樹脂塗装
たわみ継手	ファンセクションとコイルセクションの接続に使用する 場合 材料 繊維系クロス片面アルミ箔貼 引張強度 1.57Mpa/50mm(16kgf/50mm)以上 耐折れ強度 5000回以上 厚さ 0.65mm以上 構造 二重(ピアノ線・金網)挿入	アルミガラスクロス 片面アルミ箔貼 二重(ピアノ線)挿入
付属品	(イ)保護金網(吸込側にダクトを接続しない場合) 有・無 (ロ)配管接続用フランジ(口径 65mm以上)又は 配管接続用アダプター(口径 65mm以下) (ハ)送風機吐出側相フランジ (ニ)基礎ボルト (ホ)加湿状態点検用ランプ(気化式を除く) 有・無 (ヘ)銘板	(イ) 無 (ロ) 付属 (相フランジは付属しない) (ハ) 付属 (ニ) 指定された場合付属 (ホ) 無 (ヘ) 有り

○ 印のもの及び無印のものにより製作し、・印のものは適用しない。  
 使用しない単位・項目は、横線で消し、製造仕様欄には明細を記載する。